

イビデン(親会社)および当社含むイビデングループでは、気候変動対応を重要な経営課題の一つに位置づけ、事業成長と気候変動対応の両立に向け、低炭素な操業を可能にする生産技術の革新と、脱炭素社会に貢献する技術開発を一丸となって進めています。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2025年10月～2027年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を23.8%向上させることを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

省エネ設計されたコンプレッサー設備を既存工場(本社工場)へ導入し、低炭素な操業で付加価値を創出することによって、炭素生産性を向上させます。

4. 支援措置

税制措置

(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<取組の内容のイメージ>

イビデン(親会社)および当社含むイビデングループの指標と目標

環境ビジョン2050の実現に向けた温室効果ガス排出削減の2030年度目標を策定しました。

カーボンニュートラル目標

2040年代のできる限り早い段階で、温室効果ガス排出の実質ゼロを達成する。

2030年度マイルストーン目標

2017年度比で、排出総量を30%削減し、排出原単位を50%以上削減する。

カーボンニュートラル目標に向けた当社ロードマップ

	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
排出削減活動 (設備・技術革新)	高エネルギー効率の生産設備導入					
	DXによる生産効率、エネルギー利用効率の最適化					
エネルギーの 転換	新エネルギー(燃料)の活用検討			新エネルギー(燃料)の導入		
	再生可能エネルギー電力調達					



本社工場



北陸工場